

2025 年度 卒業生（4 年次生）アンケート報告書

川崎医療福祉大学
FD・SD 委員会

本学の「卒業生（4 年次生）アンケート」は、入学依頼の本学の教育課程に対する満足度およびディプロマ・ポリシーの達成度を把握するために行っている。この調査は、2006 年度より始まり、毎年実施している。

1. 実施状況

1-1 実施対象と実施方法

対象は卒業を前にした 4 年次生で、2025 年度の対象者数は 945 名であった。アンケートは WebClass を使用して、オンラインにて実施した。質問項目は巻末の資料 1 の通りである。

1-2 実施期間

2025 年 9 月 12 日（金）～2026 年 3 月 18 日（水）

2. 実施結果

2-1 回収率

回答数は 817 件で、回収率は 86.46%と、昨年度 95.60%を下回った。最も回収率の高い学科は 100%、最も低い学科は 83.1%であった。来年度は、昨年度並みまでに回収率を回復するための準備をすすめる。

2-2 卒業後の進路（質問 1）

全学的には医療機関 61.93%（昨年度 61.48%）、福祉施設 9.67%（昨年度 9.44%）、医療・福祉系企業 5.75%（昨年度 6.01%）、一般企業 9.55%（昨年度 8.15%）、官公庁（公務員）6.85%（昨年度 6.12%）、進学 2.94%（昨年度 4.94%）、その他 3.30%（昨年度 3.86%）であった。昨年に比べて就職者が 1%以上増加したのが、一般企業で、1%以上減少したのが進学であった。

2-3 教育全体に対する満足度（質問 2）

全学の教育全体に対する満足度の平均値は 4.09（昨年度 4.05）であった。学科別にみると、視能療法学科 4.29 が最も高く医療福祉経営学科 3.40 が最も低かった。

表 1 学科別の教育全体に対する満足度、ディプロマ・ポリシー達成度、授業に対する評価

学科	人数	#2-3 満足度	#2-4 ディプロマポリシー達成度				#2-5 授業に対する評価		
			①	②	③	④	まとめり	臨機応変	シラバス適合
11 福祉	53	4.17	4.06	4.08	4.00	4.00	4.11	3.98	4.17
12 心理	57	4.11	4.00	3.98	4.05	3.70	4.16	4.19	4.19
13 保育	42	3.86	3.86	3.95	3.93	3.86	3.98	3.90	4.02
21 看護	107	4.12	4.07	4.14	4.12	4.09	4.10	4.11	4.33
31 理学	74	4.18	3.96	3.92	3.95	3.92	3.97	3.95	4.09
32 作業	57	4.14	3.93	3.96	3.91	3.86	4.25	4.32	4.37
33 言語	49	3.94	4.06	4.06	4.02	3.86	4.12	3.96	4.39
34 視能	24	4.29	4.17	4.25	4.13	4.17	4.29	4.25	4.25
41 臨検	64	4.27	4.11	4.09	4.05	4.02	4.22	4.17	4.42
42 放射	72	3.85	3.86	4.06	3.88	3.93	3.89	3.79	4.17
43 臨工	54	4.09	4.24	4.31	4.13	4.33	4.17	4.20	4.37
44 栄養	27	4.22	4.22	4.26	4.11	4.04	4.33	4.22	4.07
45 健体	76	4.13	4.18	4.33	4.21	4.18	4.17	4.18	4.17
51 経営	10	3.40	3.80	3.60	3.90	3.60	3.80	4.00	3.90
52 秘書	15	4.13	4.33	4.40	4.33	4.13	4.27	4.13	4.27
53 DS	25	4.16	4.00	3.96	4.08	4.12	4.08	4.44	4.48
54 デザ	11	4.00	4.00	4.18	3.82	3.64	3.55	3.64	4.09
総計	817	4.09	4.05	4.10	4.04	4.00	4.11	4.09	4.24

2-4 ディプロマ・ポリシーの達成度（質問 3）

4 つのディプロマ・ポリシーについて、達成度を 5 段階で評価してもらった。それぞれ平均値を示すと、「①幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。」4.05（昨年度 3.96）、「②豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。」4.10（昨年度 4.00）、「③医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。」4.04（昨年度 3.99）、「④4 年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。」4.00（昨年度 3.89）であった。全ての項目で達成度が高くなり、値も全て 4 以上となった。

2-5 在学中に受講した授業についての評価（質問 4～6）

在学中に受講した授業について、5 段階で評価してもらった。それぞれ平均値を示すと、授業内容のまとめり（質問 4）4.11（昨年度 4.04）、教員の臨機応変さ（質問 5）4.09（昨年度 4.02）、シラバスに沿った内容（質問 6）4.24（昨年度 4.16）であった。

2-6 基礎教育科目の分野別満足度（質問 7）

基礎教育科目の満足度の平均値を分野別にみると、医療福祉分野が 4.11（昨年度 4.08）と高く、国際コミュニケーション分野が 3.73（昨年度 3.83）と低かった。

表 2 科目分類別の授業満足

学科	人数	基礎教育科目						専門科目			
		医療福祉	教養	国際コミュ	健康体育	情報	総合	講義	演習	実習	卒研
11 福祉	53	4.32	4.02	3.75	4.11	3.96	4.19	4.34	4.23	4.42	4.42
12 心理	57	4.21	4.12	3.86	3.95	4.02	4.09	4.23	4.11	4.05	4.51
13 保育	42	4.07	3.93	3.45	3.95	3.86	3.88	4.02	4.12	4.17	4.19
21 看護	107	4.11	4.12	3.81	4.11	3.96	4.10	4.20	4.24	4.31	4.21
31 理学	74	3.97	3.92	3.54	3.91	3.85	3.89	4.15	4.18	4.35	4.31
32 作業	57	4.07	4.07	3.74	3.91	3.82	3.95	4.25	4.26	4.42	4.28
33 言語	49	3.98	3.96	3.61	3.98	3.90	4.04	4.16	4.14	4.02	4.39
34 視能	24	4.25	4.08	4.00	4.04	4.04	4.13	4.33	4.42	4.54	4.58
41 臨検	64	4.13	4.17	3.97	4.03	4.02	4.23	4.38	4.47	4.55	4.56
42 放射	72	3.90	3.92	3.51	3.76	3.83	3.88	4.04	4.00	4.29	4.22
43 臨工	54	4.28	4.22	3.81	4.02	4.13	4.20	4.37	4.41	4.59	4.61
44 栄養	27	3.89	3.81	3.67	3.89	3.85	3.96	4.44	4.44	4.44	4.56
45 健体	76	4.17	4.22	3.92	4.38	3.92	4.07	4.24	4.28	4.37	4.54
51 経営	10	3.70	3.90	3.30	3.60	3.70	3.60	3.70	3.60	3.90	4.60
52 秘書	15	4.40	4.20	4.13	4.07	4.40	4.33	4.47	4.33	4.47	4.27
53 DS	25	4.24	4.12	3.64	4.08	4.48	4.08	4.32	4.24	4.36	4.64
54 デザ	11	4.27	4.00	3.00	3.36	3.73	3.91	4.00	4.09	4.09	4.27
総計	817	4.11	4.06	3.73	4.01	3.95	4.05	4.22	4.23	4.33	4.40

2-7 専門科目の授業形態別満足度（質問 8）

専門科目の満足度の平均値を授業形態別にみると、講義科目 4.22（昨年度 4.16）、演習科目 4.23（昨年度 4.20）、実習科目 4.33（昨年度 4.26）、卒業研究（ゼミナール）4.40（昨年度 4.35）と、全ての授業形態において昨年度より高い評価であった。

3. 自由記述

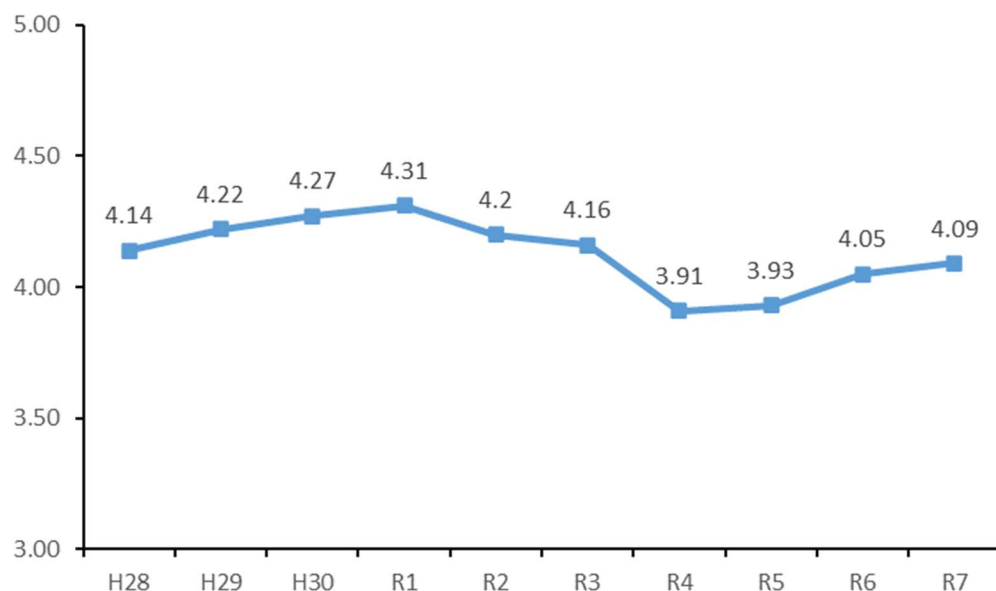
自由記述では、幅広い意見が寄せられた。授業面では、グループワークの少なさや教員間で指導方法や評価基準に差があることへの不満や、一部教員の対応・コミュニケーションに対する厳しい意見もあった。実習については、指導体制や連絡の遅さなどへの改善要望が多く寄せられた。そのほか、就職支援や奨学金制度の充実、印刷費負担や学習環境の改善を求める声もみられた。一方で、感謝や満足を示す意見もあり、大学全体への評価は概ね良好であるものの、教員対応の質の向上、学生支援体制の充実、より実践的で主体的な学習機会の拡充を求める声が目立った。

4. まとめ

今年度も、オンライン形式でアンケートを実施した。今年度は回収率が低かったため、回答呼びかけを積極的におこなう等により、回収率をまずは昨年並の95%以上まで上げることが望まれる。

教育全体に対する満足度の平均値は、今年度4.09となり、昨年度の4.05を上回るなど改善傾向を示している。一方で、4年前まで維持していた4.1以上の水準にはまだ回復していない。また、授業満足度については近年上昇傾向にあり、教育改善の成果がある程度あらわれていると考えられるため、今後も継続的な取組を進めていきたい。ディプロマ・ポリシーの達成度については、今年度初めて全ての項目で4.0以上となった。これらの達成度をさらに高めることが、教育全体に対する満足度向上にもつながると考えられる。今後も大学・学科が連携して継続的な改善を進めるとともに、教育全体の満足度や関連指標の経年変化を注視していく必要がある。

図1 教育全体に対する満足度の10年間の経年変化



2025年度 卒業生（4年次生）アンケート

本学では、在学中の教育について皆様の率直な感想を伺い、今後の教育改善に活かしていきたいと考えています。趣旨をご理解のうえ、以下の質問に回答をお願いいたします。本アンケートは匿名となっており、個人のプライバシーの侵害及びアンケートの目的以外の使用はいたしませんので、率直に回答してください。なお、所属学科、年次、回答の有無はシステム上で確認できるようにしていますが、アンケート回答の督促及び集計のためのみに使用しますのでご了承ください。

必須

質問1.卒業後の進路（希望を含む）

- ☐ 医療機関に就職
- ☐ 福祉施設に就職
- ☐ 医療・福祉系企業に就職
- ☐ 一般企業に就職
- ☐ 官公庁（公務員）に就職
- ☐ 大学院・その他教育機関に進学
- ☐ その他

必須

質問2.本学で受けた教育について、全体としてどの程度満足していますか。

満足していない  未回答 満足している

必須

質問3.本学では、大学の理念と教育理念のもと、以下の学習成果の獲得を教育目標としています。自身の達成状況について5段階で自己評価してください。

①幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。

達成できなかった  未回答 達成できた

必須

②豊かな人格形成の基本と専門領域へつなげる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探究する姿勢を身につける。

達成できなかった  未回答 達成できた

必須

③医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。

達成できなかった  未回答 達成できた

必須

④4年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。

達成できなかった  未回答 達成できた

必須

質問4.在学中に受講した授業の内容は、全学的に整理され、まとまっていたか。

整理され、まとまっていなかった  未回答 整理され、まとまっていた

必須

質問5.在学中に受講した授業の担当教員は、全体的に受講生の様子をよく見ながら臨機応変に授業を進めていましたか。

進めていなかった  未回答 進めていた

必須

質問6.在学中に受講した授業は、全体的にシラバスの記載内容に沿って行われましたか。

行われなかった  未回答 行われた

必須

質問7.基礎教育科目についてお尋ねします。それぞれの分野について、どの程度満足していますか。

①医療福祉分野



必須

②教養分野



必須

③国際コミュニケーション分野



必須

④健康体育分野



必須

⑤情報分野



必須

⑥総合分野



必須

質問8.専門科目についてお尋ねします。それぞれの授業形態の科目について、どの程度満足していますか。

①講義科目



必須

②演習科目



必須

③実習科目



必須

④卒業研究（ゼミナール）



質問9.質問項目2～8のうち、「1」 または 「2」と回答された方は質問番号と以下にその理由をお書きください。（任意）

質問10.本学の教育に関して何かご意見がありましたら、自由にお書きください。（任意）

回答する